

業績についてご報告します

損益の状況

(3行合算/山口銀行+北九州銀行・もみじ銀行)

	3行合算		
	H24/3期	H25/3期	前期比
業務粗利益	1,229	1,284	54
コア業務純益	309	341	32
経常利益	393	457	63
当期純利益	215	304	89

(億円)

コア業務純益は、もみじ銀行において、住宅ローン債権の証券化に伴う譲渡益を計上したこと等を主因として、前期比32億円増加して341億円となりました。

経常利益は、前期比63億円増加して457億円となりました。また、当期純利益は、前期比89億円増加して304億円となりました。

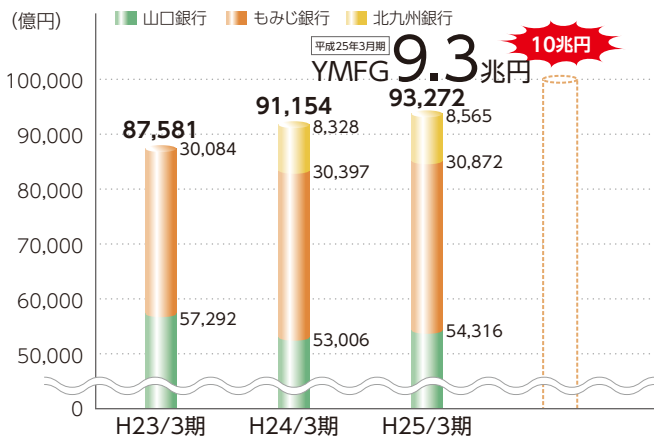
(億円)

	山口銀行+北九州銀行			もみじ銀行		
	H24/3期	H25/3期	前期比	H24/3期	H25/3期	前期比
業務粗利益	776	775	△1	452	509	56
コア業務純益	229	202	△27	79	139	59
経常利益	280	286	6	113	170	57
当期純利益	140	179	38	74	125	50

総資産

(YMFG連結・山口銀行・もみじ銀行・北九州銀行)

総資産は、預金の増加を背景として、貸出金及び有価証券とも増加したことにより、前期末比2,118億円増加して9兆3,272億円となりました。



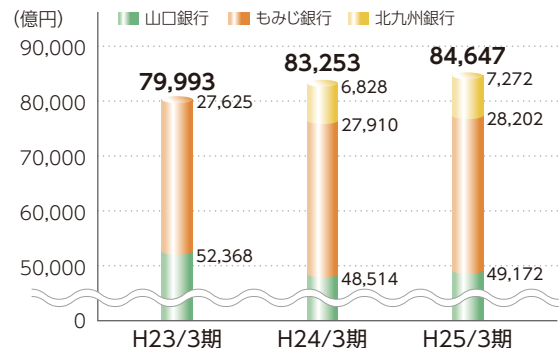
※合計金額はYMFG連結総資産で表示しているため、3行合算ではありません。

預金

(3行合算)

預金は、金利が低水準で推移するなか、お客さまの多様化するニーズにお応えすべく商品やサービスの充実とともに、地域に根ざした着実な営業展開を進めました結果、期末残高は7兆8,800億円となり、譲渡性預金と合わせると8兆4,647億円となりました。

個人預金についても、山口銀行と北九州銀行合算では前期末比1,412億円増加、もみじ銀行は前期末比254億円増加しております。



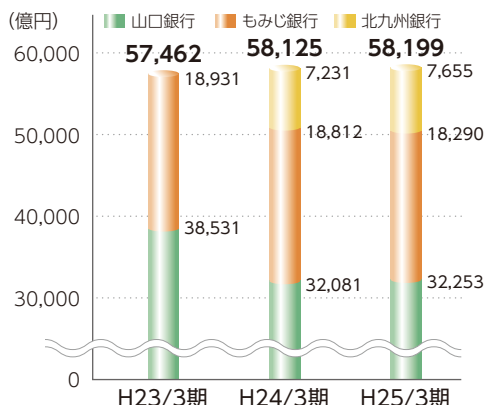
※預金残高には譲渡性預金が含まれております。

貸出金

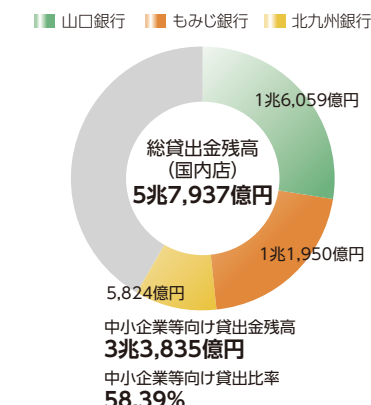
(3行合算)

貸出金は、お取引先の信頼に応えるべく健全な資金需要に積極的姿勢で取組んだ結果、期末残高は5兆8,199億円となりました。

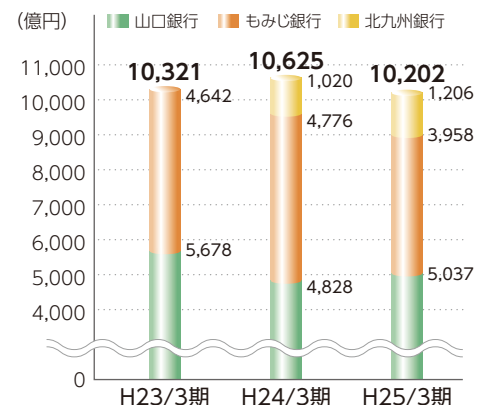
貸出金



中小企業等貸出金残高



個人ローン残高

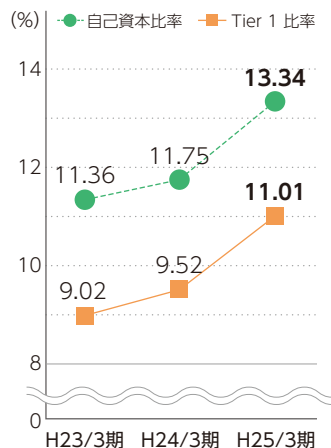


自己資本比率

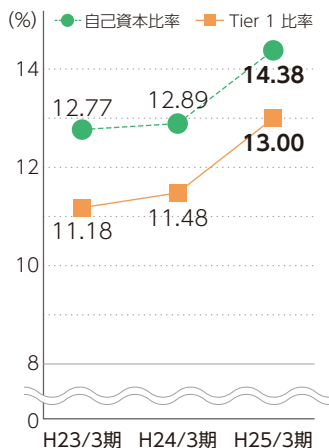
(YMFG連結・山口銀行・もみじ銀行・北九州銀行)

海外に営業拠点をもつ山口フィナンシャルグループおよび山口銀行は8%以上、もみじ銀行および北九州銀行は4%以上の確保が求められていますが、いずれも大きく上回っています。

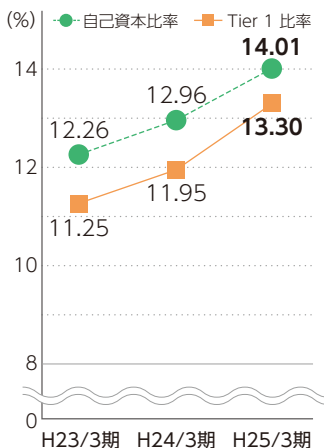
■YMFG連結(第一基準)



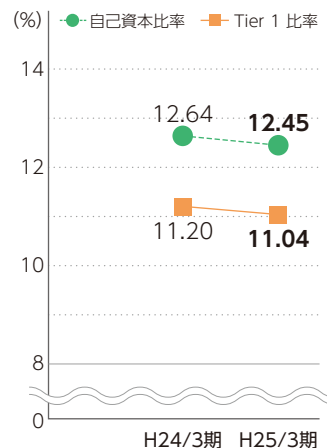
■山口銀行(国際統一基準)



■もみじ銀行(国内基準)



■北九州銀行(国内基準)



ポイント1

自己資本比率とは？

「自己資本」とは、文字どおり自分のお金のこと、返済する必要のないお金を意味します。例えば、多額の貸出金の回収ができなくなるというような、予想外の費用や損失が発生し、その損失を収益でカバーしきれないような場合に、この「自己資本」を取り崩して処理することになります。自己資本比率は、総資産のうち、貸出金などの資産(リスク・アセット)に対して、「自己資本」がどれくらいあるかを示す指標で、この水準が高いほど、銀行の健全性は高いと評価されます。

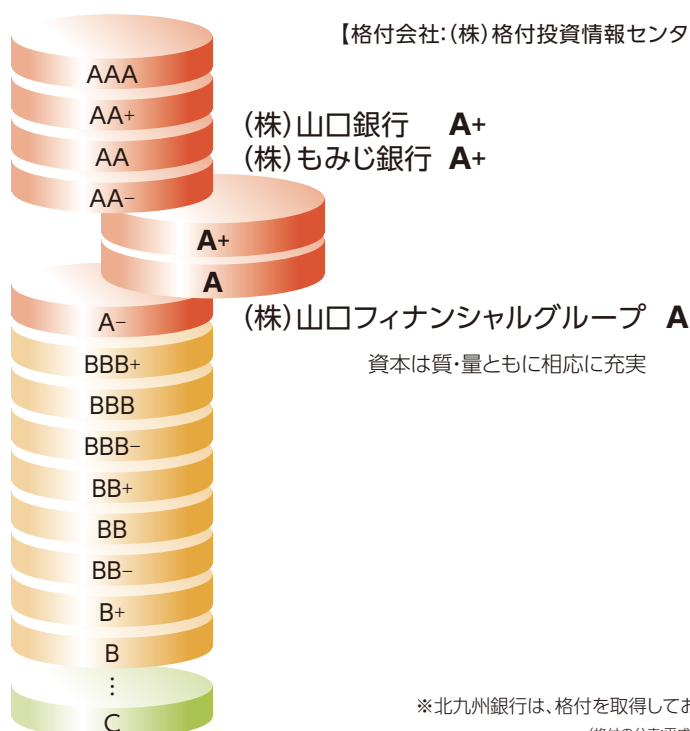
※YMFG連結及び山口銀行は、平成25年3月期から新しい自己資本比率規制(パーゼル3)により自己資本比率を算出。もみじ銀行及び北九州銀行は、前期と同様、国内基準(パーゼル2)により算出。なお、YMFG連結及び山口銀行については、基準の変更により、前期との単純比較はできません。

※平成25年3月期のYMFG連結、山口銀行及びもみじ銀行は、信用リスク・アセットの算出において、基礎的内部格付手法を採用。平成25年3月期の北九州行及び平成24年3月期のもみじ銀行、北九州銀行は、標準的手法により算出。

銀行の安全性を評価する「格付」

お客さまに安心して選んでいただけるためのひとつの目安となる、第三者の外部評価が「格付」です。山口銀行、もみじ銀行、北九州銀行を傘下に持つ山口フィナンシャルグループは、格付投資情報センター(R&I)から、信用度について高い評価をいただいています。

【格付会社: (株)格付投資情報センター(R&I)】



※北九州銀行は、格付を取得していません。
(格付の公表:平成25年6月28日)

ポイント2

格付とは？

格付機関が財務分析・業界分析などを行って、発行体の信用度を記号で評価することをいいます。投資家が投資を行う際などの参考データとなります。当社では「格付投資情報センター(R&I)」に依頼して格付を取得しています。